



目次

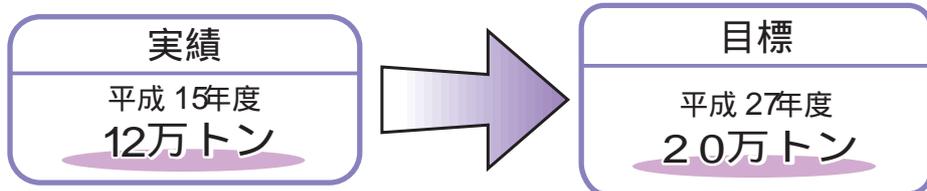
- 1 「かわさきチャレンジ・3R」推進中！パート2
- 2 ・川崎市から出る資源物の量を知っていますか？
・川崎市のごみ収集日が変わります。
- 3 チャレンジ・3R特集
川崎らしい「生ごみリサイクルプラン」つくります！
- 4 お知らせ他

『かわさきチャレンジ・3R』推進中！パート2

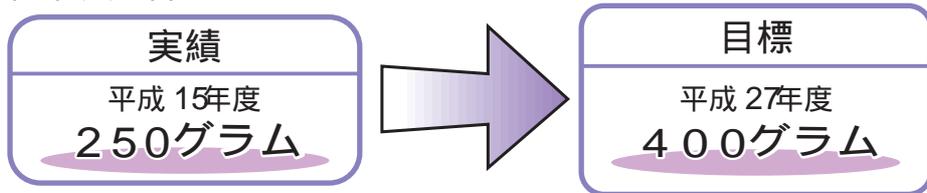
「かわさきチャレンジ・3R（＝川崎市一般廃棄物処理基本計画）」は、市民・事業者・行政が一丸となって3R(※)を基本にごみの減量・リサイクルを推進していくための目標や具体的な取組を定めたものです。計画目標の①ごみの発生抑制の推進、②リサイクルの推進、③焼却量の削減のうち、前号では①について紹介しました。そこで、今号では②リサイクルの推進についてご紹介します。

目標2 市全体の資源化量を20万トン(資源化率35%)にします。

市全体の目標



市民1人1日あたりでは...



ごみの分別・リサイクル！

資源化
400グラムの
目安



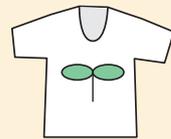
ペットボトル(500ml)
50g x 8本



アルミ缶(350ml)
20g x 20本



朝刊(10枚40面)
200g x 2日分



Tシャツ(1枚)
100g x 4枚

「資源化量」に含まれるものは...

- ・資源集団回収(新聞、雑誌、ダンボール、古布など)
- ・家庭から出る資源物(缶、びん、ペットボトルなど)
- ・事業活動に伴う資源物(ダンボール、オフィスペーパーなど)
- ・その他(生ごみ堆肥化など)

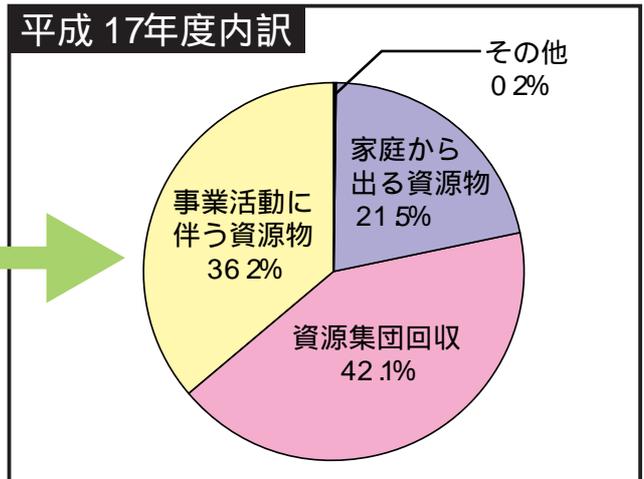
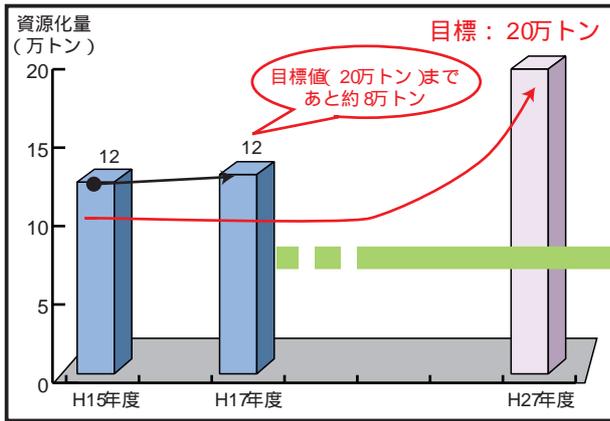
一人ひとりの積み重ねが大きな成果をもたらします。
あなたも今日からチャレンジしよう！





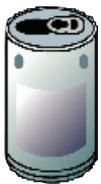
川崎市から出る資源物の量を知っていますか？

... 平成 17年度に市が集めた資源物の量は、**12万 3千トン**

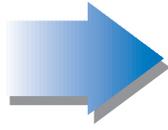


回収された資源物は何に生まれ変わるの？

川崎市が回収した...



空き缶
7,200トン

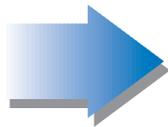


350m缶(20g)に換算すると約3億6千万本に相当し、新しいアルミ缶などの材料として使われています。市民一人当たりで換算すると年間約280本に相当します。

アルミ1トンをアルミ缶から製造した場合、節約できる電力量は約20,000キロワット。約66世帯分の電気を1ヶ月間まかなうことができます。(アルミ缶リサイクル協会の試算に基づく推計)

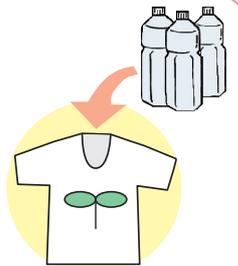


ペットボトル
3,700トン



500mボトル(50g)に換算して約7,400万本のペットボトルが一年間に回収され、制服やシャツなどの繊維製品、洗剤用ボトル、文具類、コンテナなどの身近な製品に形を変えて再利用されています。

500mボトル約3本で、シャツ1着を作ることができます。



平成 19年 4月 1日 から川崎市のごみ収集日が変わります。

川崎市では、現在普通ごみを週4日、資源物を週1日収集していますが、平成19年4月1日からは、

普通ごみの収集を「月、水、金」の地区と「火、木、土」の地区に分けます。

資源物の日を現行の火曜～木曜から、月曜～土曜の6地区に分けます。

今までごみを収集していなかった休日も普通ごみや資源物の収集を行います。

新しいごみ収集体制を導入することで・・・

排出ごみ量の平準化を図り、効率化、効果的な収集を行います。

ミックスペーパーのモデル収集を一部の地域で行います。

ごみ収集のない日を利用して、資源ごみ(ミックスペーパー、その他プラスチック)の分別を検討し、全市拡大を目指します。



川崎らしい

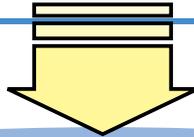
「生ごみリサイクルプラン」をつくります！



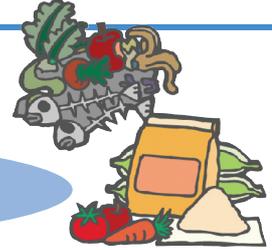
今、なぜ生ごみリサイクルが必要なの？

川崎市内の家庭や事業所からは、毎日たくさんの生ごみが出ます。この生ごみのほとんどがごみとして収集、焼却され、最終処分場に埋め立てられています。しかし、生ごみはリサイクルすることで肥料・堆肥になる他、メタンガスを取り出してエネルギーとして活用することもできるなど、資源として役立てることができます。

生ごみをリサイクルしてできた堆肥や肥料を活用し、農産物をつくるという地域での循環を基本とし、さらに川崎の地域特性を生かした生ごみリサイクルの取組を行っていくことが必要とされています。



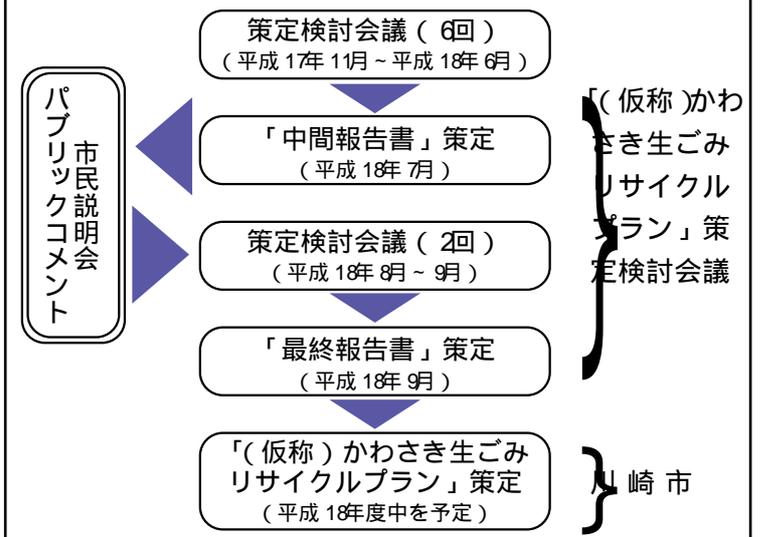
「(仮称)かわさき生ごみリサイクルプラン」策定検討会議の設置と報告書の作成



「(仮称)かわさき生ごみリサイクルプラン」策定検討会議では、平成17年11月から平成18年6月にかけて、川崎市で生ごみリサイクルに取り組んでいる市民・事業者・研究者・市が、お互いの経験と知恵を出し合って中間報告書を作成しました。

この中間報告書に市民の皆さんからのご意見をいただき、「最終報告書」を策定しました。そして、川崎市が「最終報告書」の考え方を生かして、「(仮称)かわさき生ごみリサイクルプラン」を策定することになります。

「(仮称)かわさき生ごみリサイクルプラン」策定の手順



今年度中に「かわさき生ごみリサイクルプラン」を策定します。プランができ次第皆さんにお知らせします。詳しくは「環境局廃棄物政策担当」へお問合せください。



地域の廃棄物減量指導員にご協力を！

廃棄物減量指導員は、町内会・自治会などの住民組織団体から推薦をいただき、川崎市長から2年間の任期で委嘱を受けた、ごみの減量とリサイクルの地域におけるボランティア・リーダーです。

主な活動内容は、①ごみ減量の普及啓発 ②リサイクル活動実践の指導

③排出方法の遵守指導 ④廃棄物行政に関する意見・情報の提供 などです。

今年4月、第7期目となる廃棄物減量指導員の方々、1,790名が新たに委嘱を受け、地域での活動をスタートしました。

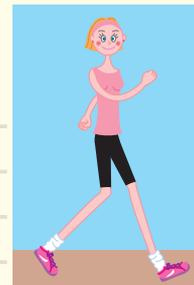
みなさんの地域の廃棄物減量指導員に、ご協力をお願いします。



ちょっと一息...

「ロハス (LOHAS)」的生活のススメ!

- 最近、テレビや雑誌などで「ロハス (LOHAS)」という言葉を目にする機会が増えていますが、この言葉の意味をご存知でしょうか。
- 「ロハス (LOHAS)」とは、1990年代後半、新しいマーケティングの概念としてアメリカで生まれ、目先の利潤や効率のみを追求する従来の大量生産、大量消費型の生活様式から脱却し、「個人の健康・豊かさ＝健全な地球環境の確保」という考えに基づいて、個人の消費活動やライフスタイルを選択していくことを指しています。



-  例えば、食べ物は多少高価でも「有機」で「地産地消」のものを選び、地域の「環境保護運動」に積極的に参加し、休暇では「環境に親しむ旅」を楽しみ、身の回りのものは「リメイクやリフォーム」、「リユース・リサイクル」してできる限りながく利用し、「環境や社会への貢献の高い企業への投資」により手持ちの資金を運用する...

- こうしたライフスタイルを持つ人を「ロハス (LOHAS)な人」として、また、これからの経済活動や生活習慣を牽引していく原動力として、環境分野のみならず、経済分野からも大いに注目されています。



- 「ロハス (LOHAS)」とは、「Lifestyles of Health and Sustainability」の頭文字をとった造語で「健康に配慮し、持続可能な環境を目指したライフスタイル」を意味します。

お知らせ



第29回

かわさき市民祭り

フリーマーケット 出店者募集!

- 日時：平成18年11月5日(日) 10時～15時30分
- 会場：川崎競輪場 メインスタンド2階
- 出店料：1,000円
- 対象者：市内在住・在勤・在学の方 営利目的は不可
- 申込方法：郵便番号、住所 在勤 在学の方は名称を併記)、氏名、電話番号、出店内容を記入の上、ハガキでお申し込みください。(市ホームページからもお申し込みできます。)
- 申込締切日：10月2日(月) ※当日消印有効
※駐車場がありませんので、出店の際は公共の交通手段等を御利用ください。



お願い



3Rニュースに関する皆さんの御要望・質問にもできる限り応えていきたいと思っております。廃棄物政策担当(下記)までどしどしお寄せください。



編集後記

先日、コンビニにマイバッグをぶら下げて行ってみました。スーパーの買い物ではマイバッグ派だったのですが、コンビニには初体験なので少々緊張しました。「この袋に入れてください」、思い切って袋を差し出すと店員さん一瞬驚いたような顔をしましたが、すぐに笑顔で「ありがとうございます」。案ずるより産むが易し。これからは、通勤カバンにもマイバッグ入れておこうかな。(K)

編集・発行 / 〒210-8577(住所はなくても届きます) 川崎市環境局廃棄物政策担当

(電話) 200-2580 (電子メール) 3Chaise@city.kawasaki.jp

ごみ・リサイクルに関するHP / <http://www.city.kawasaki.jp.30/30genryo/home/menu/htm>



古紙パルプ配合率100%再生紙を使用